

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等>

2010 年オープン時に宣言したステートメント『for the Yakushima』を拠り所として、世界自然遺産屋久島にホテルがあることの意義や持続可能性について深く考えながら運営を行う。

『for the Yakushima』

・私たちは、世界自然遺産屋久島に相応しいエコ活動や、イベント等を地元の皆様と一緒に展開し、国内のみならずワールドワイドな PR 展開を図ります。

・私たちは、屋久島町の地域のボランティア活動にすすんで参加いたします。

・私たちは、屋久杉のようにサスティナビリティ(持続可能性)溢れるホテル運営を目指します。

・私たちは、「サンカラ基金」を設立し、屋久島の発展や自然保護のために使用いたします。

・私たちは、地産地消を目標とし、レストランの食材は地元鹿児島県をはじめとした九州各地より調達いたします。これらの取り組みを継続的に行うことで SDGs の実現を目指します。

<SDGs 達成に向けての重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	使い捨てを減らし、環境に配慮したアメニティやサービスを提供するだけでなく、社内外のステークホルダーに向けて環境意識の啓蒙活動を行う	環境教育プログラムの実施回数:15 回／年間
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ホテル内で立ち上げた Team Zero Waste Sankara の活動の一環として、海・山・里において地域を巻き込んだ清掃活動を定期的に行う	清掃活動によるゴミの年間回収量:1 トン／年間
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	島内のリソースや食材等の積極的な活用を通じて地域経済の活性化を目指す インターンシップの積極的な受け入れや、様々なバックボーンを持つ人材の採用を推進する。	地域団体・NPO との取引件数:20 件／年間 多言語対応スタッフ比率:5%

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

独自に立ち上げた「サンカラ基金」を活用し、ウミガメの保護活動を行っているウミガメ館と協力し、ウミガメが産卵を行う浜の清掃、砂減少を防止するための植林などを実施している。

また日本の外来生物研究の有識者や専門家と協力して、屋久島固有の生態系への脅威となっている外来タヌキの生態や現状、個体数の把握などについて、2025 年から調査を開始している。

- ・「SDGs に関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。